

患者ケア時の感染対策

③食事介助、口腔ケア時の感染対策

重要!



食事介助や口腔ケア時は患者との距離も近く、飛沫などの体液が飛散することがあるため、感染リスクが非常に高いです。適切な个人防护具を選択し職員を感染から守りましょう。

食事介助時



- ・患者からの飛沫に曝露する可能性があるためマスクとゴーグル(フェイスシールド)を使用し、眼・鼻・口を防護する。
- ・手袋は必ずしも必要ではない。患者が繊維質の咀嚼物を吐き出したり、介助者が口腔内の残渣物を取り除くなど、唾液や嘔吐物などの湿性生体物質を取り扱う際には手袋を使用し、使用後には手指衛生を行う。

※食事介助の際には、患者の足が床に届くことを確認しながら深めに腰をかけてもらいましょう。また、立った状態で介助すると患者の顎が上がりやすくなり誤嚥を誘導する原因になるので、横に座り同じ目線で介助を行いましょ

口腔ケア時



- ・患者からの飛沫に曝露する可能性があるため目の防護のためにゴーグル(フェイスシールド)、鼻・口の防護のためにマスク、手指の汚染リスクを低減するために使い捨ての手袋を着用する。
- ・衣類への飛散が考えられる場合、エプロンも着用する必要がある。



飛沫の飛散リスクが高いため正面からのケアは避けましょ

歯ブラシの管理大丈夫ですか？

歯ブラシの洗浄後の乾燥中に、他の人の歯ブラシが接触してしまうと細菌が付着し感染リスクが高くなります。歯ブラシは個別で保管ましょ

